

低酸素水塊動向調査結果

資料：水質観測（9 / 1 8 東京内湾：わかふさ），水質保全研究所の9 / 1 9 観測データ
 内湾底びき網連絡協議会による低酸素水塊調査（9 / 1 2）

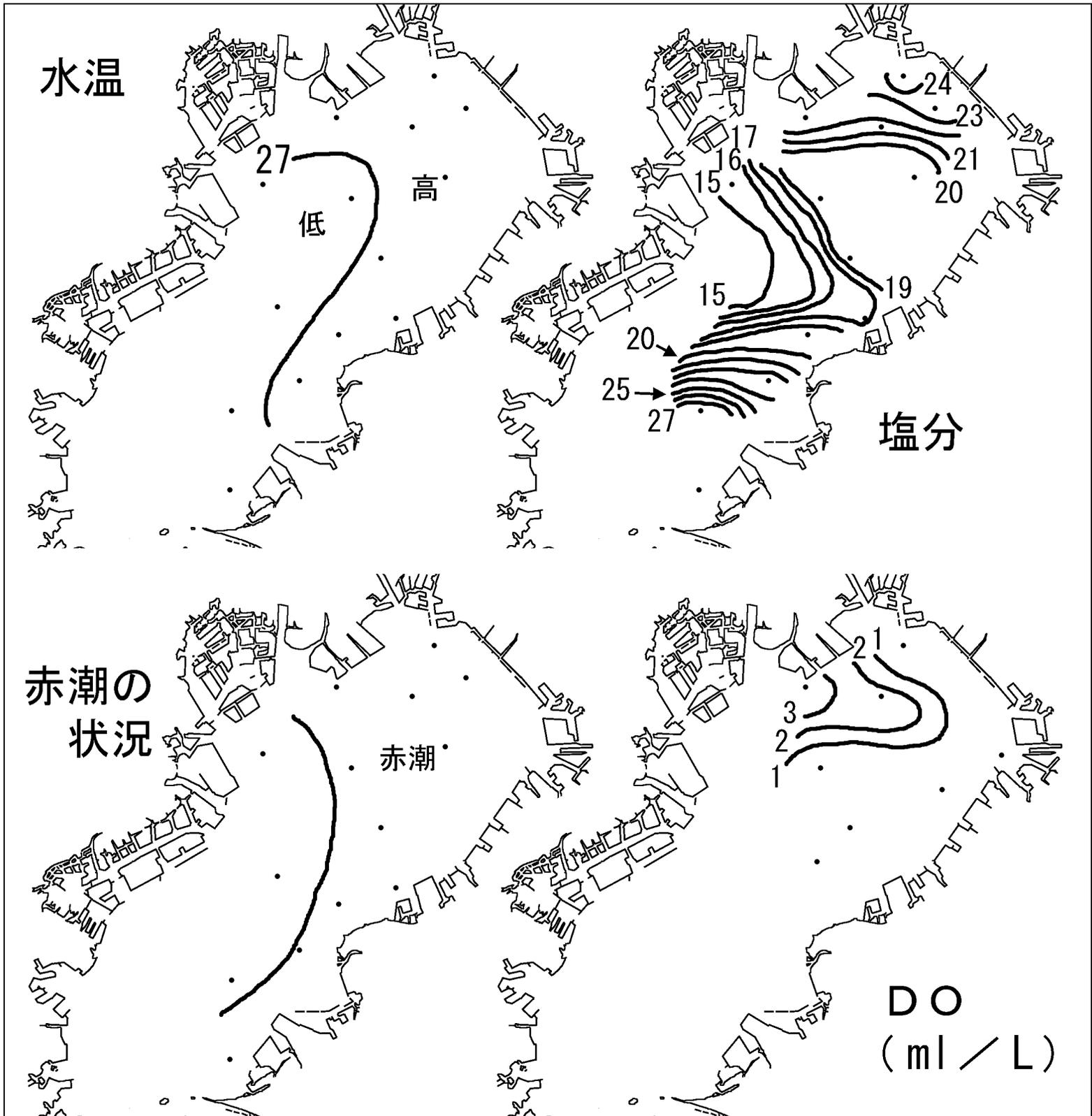


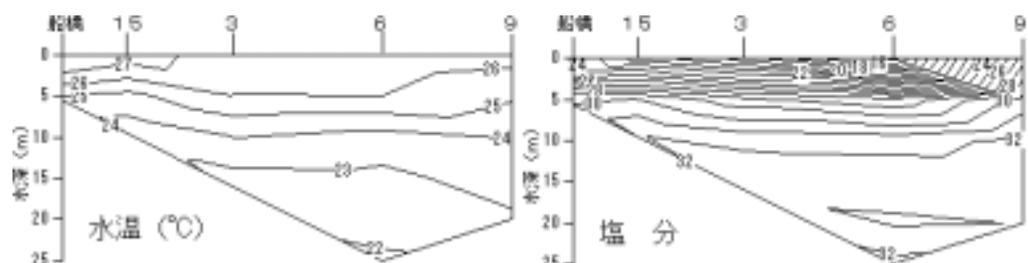
図1 表層の水温，塩分，赤潮の状況と底層のDO（DOは9 / 1 9 水保資料）

図2 内湾縦断面の鉛直分布

水温・塩分の状況（図1，2，表1）

表層の水温は26～27 でした。塩分は14～27で内湾中央部が低くなっています。

縦断面の鉛直分布をみると水温は21～28 ，塩分は14～32でした。



低酸素水塊の状況 (図1, 参考: 図3)

19日水質保全研究所観測の結果をみると,底層では低酸素状態が続いています。今後も青潮などに注意してください。

水試では2.5ml/L (酸素飽和度50%)以下を低酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

赤潮の状況 (図1, 5, 表1)

内湾中央~東側で広く赤潮です。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は18~150µg/Lでした。湾奥~千葉県沿岸が濃くなっています。

赤潮の主なプランクトンは内湾全域で珪藻のスケトネマ (*Skeletonema* sp.) を中心としたタラシオシーラ科でした。



図3 底層のDO分布 (9月12日内湾底びき観測分)

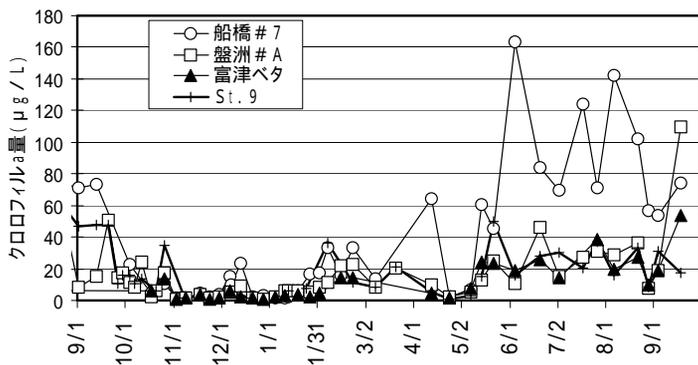


図4 クロロフィルa量の変化

表1. 水質調査結果(表層)

調査年月日: 9月18日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	クロロフィルa量 (µg/l)
船橋	1.1	27.4	24.0	8.7	74.3
St.15	1.1	27.6	21.6	*8.7	109.0
st.3	1.0	26.4	19.6	*8.7	123.4
St.6	1.0	26.6	14.6	8.5	139.6
St.9	3.4	26.4	27.5	8.3	17.8
盤洲Cブイ	0.9	27.6	17.9	*8.7	131.0
盤洲Bブイ	0.9	27.8	19.2	*8.7	121.1
St.8 (盤洲Aブイ)	1.0	27.6	22.2	*8.7	109.4
富津ベタ	2.0	26.2	27.0	8.7	53.9

pHの*は8.7以上です

潮位の上昇について (図5)

9月3日頃から内湾の潮位が高めで推移しています。最近数日間は房総半島に黒潮が接岸したため,とくに高めです。注意してください。

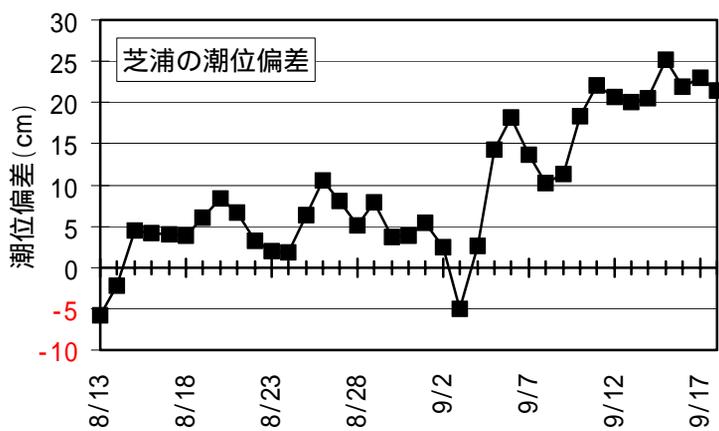


図5 内湾の潮位偏差 (気圧補正済み)

観測日記

内湾の中央部で淡水の水草「ホテイアオイ」が浮かんでいました。